

4月20日（月）

今朝のニュースの天気予報では、「まるで6月のような気温になるでしょう」と伝えられていました。冬から春、そして一気に夏へと進んでいくような気候が続いています。体がまだ暑さに慣れていない時期ですので、学校でも子供たちの体調の変化に十分気を配りながら、一日一日を大切に過ごしていきたいと思います。

正面玄関を入ったところにある掲示板には、『あいさつ名人』の写真が貼られています。生活指導担当の先生が、その日の朝に出会った子供たちの中から、特に気持ちのよいあいさつができていた子を紹介してくれているものです。掲示板いっぱいになった、子供たちのいきいきとした表情を見るたびに、こちらまで元気をもらっています。

その取り組みの成果でしょうか。今朝、子供たちの登校の見守りに行こうと校舎内を歩いていると、遠くから元気の良いあいさつの声が響いてきました。「今日は、いつも以上にあいさつの声の大きいな」と思いながら外に出てみると、高学年の子供たちが率先してあいさつ運動に取り組んでいました。手にはミニカードを持ち、気持ちの良いあいさつを返してくれた子に笑顔で渡しています。プログラム委員会の子供たちの発案で、今日から『あいさつ運動』が始まったとのこと。子供たち自身が、あいさつの大切さを広めようと行動している姿が、とてもうれしく感じられました。

今日は週の始まりの月曜日。高倉台小学校では、毎週月曜日に全校朝会を行っています。みんなが集まりやすいよう、会場はサブグラウンドです。1年生にとっては、今日が初めての全校朝会。教室から先生と一緒に並んで集合場所に向かいました。一方、他の学年の子供たちはすっかり慣れた様子で、集合の音楽が鳴る前から、ほとんどの子が朝会の隊形で静かに待っていました。

今年度最初の朝会ということで、生活指導担当の先生が指揮を執り、整列の仕方やあいさつの仕方、朝会の流れを一つ一つ丁寧に確認しながら進めていきました。

あいさつのはじめは、校長からの話です。はじめに、子供たちの並び方や、話を聞く姿勢について触れました。「1年生の入学式の前の日に始業式がありましたが、実は少し心配していたことがありました。久しぶりの学校で気持ちがふわふわしていたのか、話を聞く態度が気になる場面がありました。」と話すと、子供たちははっとした表情で、背筋を伸ばしたように見えました。

続けて、「それでは、今日の様子はどうでしょう。なんと素晴らしい姿でしょうか。とてもよい姿勢で話を聞いていて感心しています。やはり、高倉台小学校の子供たちはすてきですね」と伝えると、子供たちの表情も少し誇らしげに見えました。そして、「みんながこれだけしっかりしているのは、お手本になっている6年生ががんばっているからですね」と、最高学年の6年生を称えました。

これからの朝会でも、子供たちのすてきなところをたくさん見つけて、しっかり伝えていきたいと思います。もっとよくなるために、時々心を引き締める『喝!』が入ることもあるかもしれませんが、その一つ一つが子供たちの成長につながるよう、大切にしていきたいと思います。